

Y15b 国立天文台天文データセンターの共同利用新データ解析システム～機能・性能のアップグレードについて～

田中伸広, 磯貝瑞希, 巻内慎一郎, 亀谷和久, 小澤武揚, 山中郷史, 藤川真記子, 古澤久徳, 高田唯史, 市川伸一 (国立天文台)

国立天文台天文データセンターでは、共同利用として、天文学および関連分野の研究のために、データ解析用計算機システム（多波長データ解析システム）を提供・運用を行っている。当システムは、様々な天文データの解析とそれを用いた研究のために、広範囲の波長域をカバーする多種多様なソフトウェアが使用できる環境を備えている。このため、当システムのユーザは、様々な波長域の天体観測データを用いた研究を効率よく進めることができる。

現在、我々は計算機システムのリプレース作業を進めている。本リプレース作業によってリニューアルされるデータ解析システムは、現行システムと比較して、総合的な計算機性能が約4倍、ディスク容量が約2倍にアップグレードされ、よりパワフルな解析環境をユーザへ提供することが可能になる。また、将来的にはさらなる性能向上も検討している。新解析システムは2018年3月1日に運用開始の予定である。本発表では、その詳細について報告する予定である。